

農協改革、町とのかかわりは？

より連携を強める



農協改革について

町とJAとの連携強化することが必要。

薄葉 JAの自己改革への取り組みですが、町内のJAも来年の3月に県南4JAの合併も含めて自己改革実現に取り組んでおり、国の農協法の抜本改訂では農協の今後の地域農業振興へ果たす役割や農業所得の向上が地域振興と一体的に取り組みがされて行かないと思われまますので、町としてはどのように思われているのか。

町長 今般の農協改革については、自己改革の基本としている農業者と地



JA 東西しらかわ矢吹中央支店

域住民が一体となった「持続可能な農業」や「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現を目指すことが重要であります。今後、も地域農業の発展を守り、生活の安定を図るため、町とJAとの連携を強化していくことが必要であると考えています。

道路整備について

県への要望を継続して実施する。

薄葉 現在、県道須賀川矢吹線の三城目の天開地区で道路整備の拡幅が進められており、先月の県による道路整備に係る地権者への説明会では道路拡幅整備だけで歩道は予定していないとの説明であり、拡幅されれば歩道が無いと通学児童に大変危険なため歩道整備の要望があるが、町としてはどのように考えているのか。

町長 本路線も含め、町内の県道の拡幅、歩道設置については、毎年、福島県県南建設事務所との間で行われます「事業調

整会議」において、県に要望をしているところであります。本区間については、現状を捉え、道路拡幅と歩道設置の要望を継続して実施しているところであります。

中学生の海外派遣事業について

事業の成果を広く伝えることをする。

薄葉 平成12年度から14回200名以上の中学生が派遣されており、当初の目的である国際交流と語学力向上において、事業の実施後どのような成果が町に持ち込まれたのか。また、平成27年度は、記念すべき15回の開催とうことで、派遣先との相互交流等も含めて特別な企画等の予定はあるのかをお尋ねいたします。

町長 派遣事業の成果として、参加した生徒が、将来英語を使える職業に就きたいという希望を持って進学する生徒が出てきています。また、過去の参加者へのアンケー



海外派遣事業 (ホームステイの様子)

トによる追跡調査をした結果、国際感覚や語学力向上を身につけてもらう事、という意義を大きく感じられて、改めてこの事業の持つ意味を感じることが出来ました。今後、この事業の成果を広く伝えられるようにしたいと思います。15回目の開催の特別企画等は、今のところ考えておりません。

その他の質問事項

- ・平成26年度転作の取り組み状況
- ・水稲直播栽培事業について
- ・阿由里川の浸食対策について